

平成 21 年 5 月 18 日

学術情報流通改革検討WG活動報告

1. 活動状況

(1) WG開催

第1回WG 平成20年7月31日(木) 於：東京大学附属図書館

主な検討事項：

1. 当WGの課題について
2. 平成20年度の課題について
3. 学術情報委員会及び電子ジャーナルタスクフォースとの役割分担と連携について
4. 当面のスケジュール

(2) 合同電子ジャーナルタスクフォースとの共同

学術情報委員会メンバーと共同して、合同電子ジャーナルタスクフォースとして、第1回(平成20年8月29日)～第10回(平成21年3月30日)の活動を行った。

(3) 電子ジャーナルシンポジウムの開催

平成20年5月1日開催のシンポジウムのフォローアップとして、合同電子ジャーナルタスクフォースによる出版社協議の状況を報告した。

「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる 2～」

日時：平成20年12月10日(水)13時～17時

会場：東京大学鉄門記念講堂

参加者：国立大学図書館の館長及び部課長約150名

プログラム：別紙参照

(4) オープンアクセスに関する声明の発表

学術情報委員会から「オープンアクセスに関する声明(案)」の提示を受け、平成21年1月21日にWGメンバーにメール照会を行った。引き続き、事務局を通じて、理事館による審議を経て、平成21年3月16日付で、国立大学図書館協会として「オープンアクセスに関する声明～新しい学術情報流通を目指して～」を発表した。

2. 今後の課題

- 学術情報委員会から、平成21年3月27日付で提案されている「電子ジャーナル関連組織の統合について」による本WGの解消と「学術情報流通改革検討特別委員会」設置の取扱い。

以上